

地域医療支援病院名称承認に係る審査表

5 東海大学医学部附属八王子病院

病院の概要	
所在地	八王子市石川町1838番地
開設年月日	平成14年2月1日
診療科目	内科、血液腫瘍内科、心療内科、精神科、神経内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、腎臓透析内科、糖尿病代謝内科、リウマチ科、小児科、消化器外科、乳腺外科、内分泌外科、整形外科、形成外科、脳神経外科、呼吸器外科、心臓血管外科、小児外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻いんこう科、リハビリテーション科、放射線診断科、放射線治療科、歯科口腔外科、麻酔科、病理診断科、救急科
重点医療	循環器医療、消化器医療、脳卒中・神経医療、産婦人科・小児医療、先進医療
指定等	東京都指定二次救急医療機関、東京都地域救急医療センター、東京都脳卒中急性期医療機関、東京都がん診療連携拠点病院
病床数	500床（一般病床 500床）

審査項目		申請病院の実績	
①	紹介患者に対して医療を提供することとし、次のいずれかに該当すること。 ア 紹介率 80%以上 イ 紹介率 65%以上、かつ逆紹介率 40%以上 ウ 紹介率 50%以上、かつ逆紹介率 70%以上	○ 平成 29 年度の紹介率 65.9% (A/B) ○ 平成 29 年度の逆紹介率 72.2% (C/B)	紹介患者数 10,276 人(A) 初診患者数 15,605 人(B) 逆紹介患者数 11,266 人(C)
②	病院の建物、設備、器械等を地域の医療従事者の診療、研究等に共同利用できる体制を整えていること。	○ 共同利用の範囲 ⇒ 病床、検査機器等 ○ 共同利用件数 ⇒ 高額医療機器利用 4,478 件 (平成 29 年度) ○ 共同利用に関する規程 ⇒ 東海大学医学部附属八王子病院 施設共同利用制度規程	
③	常時、重症の救急患者に対し医療を提供できる体制を確保することとし、次のいずれかに該当すること。 ア 救急自動車搬送患者数が 1,000 以上 イ 救急自動車搬送患者数が救急医療圏（二次医療圏）人口の 0.2%以上	○ 医療従事者の体制（夜間・休日） 医師 8 名、看護師 7 名、薬剤師 2 名、放射線技師 2 名、臨床検査技師 2 名、臨床工学技士 1 名 ○ 診療施設 ICU、CCU、HCU、救急センター、血管造影室、CT検査室、MRI検査室 ○ 平成 29 年度 救急自動車により搬送された患者の数 5,345 人	

審 査 項 目		申 請 病 院 の 実 績
④	地域の医療従事者の資質の向上を図るための研修を行わせる能力を有することとし、年間12回以上の研修を主催していること。	平成29年度の研修会実績 ○ 講演会、勉強会、情報交換会等 14回 ○ 地域医療機関からの参加者 238名
⑤	200床以上の病床を有すること。	病床数 500床
⑥	集中治療室、化学・細菌・病理検査施設、病理解剖室、研究室、講義室、図書室、医薬品情報管理室、緊急用又は患者輸送用自動車を有すること。	集中治療室(1室、16床)、化学検査室1室、細菌検査室1室、病理検査室1室、病理解剖室1室、研究室1室、講義室2室、図書室1室、医薬品情報管理室1室、患者輸送用自動車3台を有している。
⑦	紹介しようとする医師・歯科医師に診療及び病院の管理運営に関する諸記録を閲覧させる体制を整えていること。	事務部医事課及び医療連携室において、閲覧できる体制をとっている。
⑧	学識経験者からなる運営委員会を設置し、地域における医療の確保のために必要な支援に係る事項を審議すること。	東海大学医学部附属八王子病院地域医療支援委員会を設置している。 (委員構成) 地元地区医師会代表 5名 地元歯科医師会代表 1名 地元薬剤師会代表 1名 地元行政機関代表 3名 他医療機関代表 4名 内部委員 11名 計 25名
⑨	患者からの相談に適切に応じられる体制を確保すること。	相談室を設置し、常勤の相談員を7名配置して相談業務を行っている。

地域医療支援病院の承認にあたっての考え方

東海大学医学部附属八王子病院

病院長 小林義典

東海大学医学部附属八王子病院は、2002年3月東海大学医学部の4番目の付属病院として、八王子市の誘致のもとに開院しました。八王子市は、南多摩5市のなかで58万人という最も多い人口を抱えており、地域的にも大きなエリアを占めております。当院は、32年前に同様に八王子市からの誘致を受け開院した東京医科大学八王子医療センターとともに、八王子市民および南多摩地域の急性期医療を担当する中核病院として、これまで16年間医療活動を継続しております。

当院は、JR八王子駅、京王八王子駅などのある八王子市の北東部に位置しています。周辺に居住する市民や精密機器製造メーカーが多い石川工業団地の従業員などが外来受診者の中心ですが、隣接する日野市、昭島市、福生市の医療機関からの紹介患者も多く、全体の20%を占めています。これに対し、東京医科大学八王子医療センターは市内西部の高尾地域に位置し、市西部、南部地域の居住者と隣接する町田市、相模原市の医療を中心にカバーしています。また、東京医科大学八王子医療センターは三次救急医療担当施設として広域の重症患者を対象としているのに対し、当院は二次救急医療機関として、主に市内で発生する救急搬送を中心に受入れを行っています。従来当院は「断らない救急」をモットーとしており、そのことは年間5000件を超える救急搬送患者数にも表れています。しかしながら、この2施設は、当院の開院時から八王子市、八王子市医師会の4者による医療連携協定を締結しており、小児、周産期の夜間当番日を設定するなど地域のニーズに適切に対応できるよう医療体制を整えています。これらの事柄からも八王子市の2大学病院はすでに行政、他の地域医療機関とともに地域の医療サービス提供システムの一部となっており、その機能としては公的医療機関に準じる役割を担っていると言えると考えています。

当院は「東京都地域がん診療連携拠点病院」であり、がん患者サロンなど、がん患者との情報共有や交流の場を提供しています。また、本年度より「東京都難病医療協力病院」に指定され、この4月には日野市の後援を得て、一般開業医、歯科医、看護師、介護士、ケアマネジャーなど110名を対象に「日野市神経難病ワークショップ」を開催し好評を博しました。今後も地域医療機関との連携と大学病院としての施設充実をはかるとともに、地域の皆様により高いレベルの医療サービスの提供が出来るよう人材の確保と教育に努めてまいりたいと考えております。